

—コロナによる大きな社会の変化としてデジタル化がありますが、神戸市の取り組みをご紹介ください。

デジタル化は市役所内部での業務効率化にとどまるものではなく、市民生活を大きく変え、市民サービスを飛躍的に向上させるためのツールです。民間から来ていただいている業務改革専門官が平成28年度に行つた調査によると、神戸市にかかる年間約457万件の電話のうちの多くが照会の電話だということです。市民のもとに届く行政サービスに関する書類やホームページを見ても分かりづらくなすには思い切った電子申請です。市民の導入と個人に向けて必要な情報だけを提供することが大切です。例えば、子育てに関する情報が欲しいという人がホームページを開くと、その

命を守りながら経済活動を続け、前を向いて進んでいかなくてはいけません。

—市民にとって身近なサービスでいえば?

神戸市にある10カ所の区役所に住民の皆さんが足を運ぶのは、主に住民票や戸籍謄本、印鑑証明、納税証明などを取りに行かれるときだと思います。マイナンバーカードがあればコンビニでも取れるのですが普及していないのが現状です。

デジタル化を進め、できるだけ区役所に来ていただかなければ、個別の事情に応じて窓口で相談に応じたり、区役所まで来られないという場合には行政側から出向いて行ったり、市民一人一人

に寄り添うサービスが可能になります。

—きめ細かく対応するサービスですね。

かつてはその役目を地域社会が担っていました。大ことはご近所で聞き、時にはお隣へ味噌醤油を借りに行く。そんなお付き合いがなくなった今、社会で孤立してしまった人たちをどう支えていくかが大きな課題です。NPOやコミュニティービジネスに従事しておられる方々に行政が寄り添い協力しながら解決していくことが重要になると考えています。

—神戸医療産業都市には明るいニュースがありましたね。

震災後、ゼロからスタートした神戸医療産業都市構想ですが、現在、医薬品・



## コロナと 神戸のまちの未来像実現へと前進します

神戸市長 久元 喜造さん

新型コロナウイルスが収束しないまま迎えた2021年。まちの再生計画も着々と進み、未来に向けての明るい話題もある神戸について、どんな年になるのでしょうか。久元喜造市長にお聞きしました。

行政のデジタル化は、神戸のまちづくりを予定通り進めます。コロナはすぐに無くなることはないでしょうが、いつか必ず無くなります。つまり、私たちコロナと共に生きていかななくならず、いつ終わるのか知らない。『withコロナ』の時代を生き抜かなければなりません。ウィルスに真正面から向き合ってはいけません。

—今年はどんな年になるのでしょうか。

コロナと聞いて、神戸のまちづくりを予定通り進めます。コロナはすぐに無くなることはないでしょうが、いつか必ず無くなります。つまり、私たちコロナと共に生きていかななくならず、いつ終わるのか知らない。『withコロナ』の時代を生き抜かなければなりません。ウィルスに真正面から向き合ってはいけません。ウィルスに真正面から向き合いながら、



来春のオープンをめざす神戸阪急ビル東館（仮称）

4

「昨年はポートアイランドに『フリエイティブラボ神戸』も竣工しましたね。」

「チホスピタル」の神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センターに医療関連企業が集まる研究拠点を整備し、新しい医療機器開発や改良の実証をすることができるようになりました。

医療産業に関するスタートアップなどが入居し、互いに交流し成長していくステージとして開設しました。医療産業都市の研究所や病院とコラボしたり、さらに本格的に稼働するスマートコンピュータ「富岳」をさまざまなシミュレーションに利用したりといっています。

「『神戸阪急ビル東館』が全新的な外観を現し、いよいよ新しいまちが見えてきましたね。震災で大きな被害を受け、元の状態に戻すことで精いっぱいでしたが、やっと新たな取り組みに着手できました。策定したビ



「hinotori」（株式会社メディカルロボット提供）



「クリエイティブラボ神戸」（神戸都市振興サービス株式会社提供）

医療機器関連企業約370社が立地する日本最大のバイオメディカルクラスターにまで成長しました。昨年、国産初手術支援ロボット「hinotori」をマーケットに出すことができたメディカルロボットの快挙は最も明るいニュースです。まず神戸をはじめ国内で使い、続いて海外へも輸出、日本のインフラ輸出

「この快挙が『神戸未来医療構想』につながったのであります。」

「hinotori」の成果をきっかけに更なる医療機器開発を支援する趣旨で策定し、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」において採択さ

れ、5年間で9億円以上の支援を頂くことになります。これは手術支援ロボット開発費用に充てる目的ではなく、例えば、AIを使う画像診断システム、8Kカメラや5Gによる遠隔診断治療、体内で分解される素材など、全く新しい技術を研究し、さらに進化させるために費用に充てられます。研究を進める「リ

の目玉の一つにしたいと考えています。

3



1月に完成するフェリシモ本社

「再生、そして成長していく  
神戸のまちを楽しみにしてい  
ます。2021年もよろしく  
お願いいたします。」

「子ども本の森神戸」を寄贈  
いただく東遊園地、税関前歩  
道橋を再整備することで、ま  
ちが南北につながります。さ  
らにポートタワーの改修に着  
手し、東西につなぐ動線の構  
想を始めようとしています。

「大都市・神戸の今後について  
てどうお考えですか。」

グローバル社会の今、特に  
アジアパシフィック地域の大  
都市は連携しながら、優れた  
人材を集めて育成しようと競  
い合い、経済をけん引してい  
ます。日本は人、所得、富、  
情報全てが大都市東京に一  
極集中する時代を終わりにし  
なくてはいけません。多極分  
散型に移行するための受け皿  
になる大都市が、今以上に大き  
きな役割を果たし、そのため  
に独立して責任を果たしてい  
かなくてはいけない時代でい  
ます。そういう意味で府県から  
独立する特別自治市という構  
想は非常に魅力的なものでは  
ないでしょうか。二重行政を  
解消するだけではなく、大都市  
がそれぞれの圏域を引っ張つ  
ていき一極集中解消のため  
の国土構造をつくる手段にも  
なります。地方それぞれの大  
都市が歴史や個性を踏まえ未  
來志向で成長していくことが  
これから日本の求められる姿  
であり、神戸もその役割を  
果たしていきたいと考えてい  
ます。



来春オープン予定のGLIONグループ本社と新港第一突堤基部再開発イメージ

ジョン・構想に基づき事業を  
実施していく段階に入り、  
2021年春に初めて形にな  
るのが、阪急神戸三宮駅の北  
側エリアの再整備です。神戸  
阪急ビル東館（仮称）、高架下の  
西館のリニューアル、さんき  
たアモーレ広場の再整備、サ  
ンキタ通りの歩行者空間化を  
一体的に進め、阪急神戸三宮  
駅北側は大きく変わります。  
統いて、核となるプロジェクト  
として、国の直轄事業でも  
あるバスター・ミナルの整備に  
着手し、2026年度頃の完  
成を目指します。西日本で最  
大級の規模になるとと思いま  
す。複合施設としてオフィス  
やホテル、ホール、屋上広  
場、そして「世界一美しい」  
図書館をつくりたいと思つて  
います。また、駅前の幹線道  
路を人を中心の広場的空間へ転  
換する三宮クロススクエアな  
どを整備することで、利便性  
が高く、神戸の玄関口にふさ  
わしい空間を創出します。

「ウォーターフロントの今後  
はどうでしょうか。」



安藤忠雄さん設計の「こども本の森神戸」

新港第一突堤基部へは、1  
月にフェリシモ本社、春頃に  
はGLIONグループ本社が  
開業します。秋には複合文化  
施設「神戸ポートミュージア  
ム」が開業し、アクアリウム  
もオープンします。第二突堤  
頭に置いた再開発を予定し、  
既に民間事業者の公募を考  
えています。第一・第二突  
堤間の海面の民間活用も考  
えています。三宮駅前とウォー  
ターフロントが大きく変わり、  
駅前からウォーターフロント  
の動線上にある市役所本庁舎  
2号館や安藤忠雄さんから